

平成 26 年度 福祉学科
自己点検・評価報告書

目 次

I	自己点検・評価の概要～現状及び課題と今後の対応	1
	1. 学生募集・入学試験・広報	1
	2. 教育課程・授業	1
	3. 介護実習指導	2
	4. 学生指導	3
	5. 社会参加活動	4
	6. 所属関係団体	4
	7. 地域社会への貢献	4
	8. 研究・社会活動	5
	9. 進路指導（就職・進学）	5
II	資料編	7
	1. 学生募集・入学試験・広報	7
	2. 教育課程・授業	12
	3. 介護実習指導	15
	4. 学生指導	19
	5. 社会参加活動	21
	6. 所属関連団体	24
	7. 地域社会への貢献	25
	8. 研究・社会活動	28

平成 27 年 3 月
富山短期大学 福祉学科

I. 自己点検・評価の概要～現状及び課題と今後の対応

1. 学生募集・入学試験・広報

現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 推薦入試の受験者減を受けて、自己推薦入試以降の受験者確保に向けて、11月20・21日に県内7校に「福祉学科特別高校訪問」を行い、介護分野の仕事の魅力の説明などを行った。 (2) 県内の高等学校家庭科教諭等を対象に、福祉・介護の現場における最新情報を教育現場に提供し、相互理解を深めるための連絡協議会を開催したところ、8校の参加があった。 (3) 平成27年度入試の出願者総数は43名と昨年より26名の減であった。推薦入試出願者数23名で前年より11名減少、公募制出願者数6名で2名の減少、併設校制が3名と3名減少、指定校制は10名と前年より3名の減少であった。またオープンキャンパスにおいても延べ84名（26年度118名）と昨年を下回った。 (4) 昨年に続き、民間委託職業訓練（介護福祉士養成）事業を受託し、5名の受験があった。 (5) 入学前指導は昨年同様に、3項目の課題で行った。課題学習のねらいは、「調べる」「読む」「書く」「考える」「まとめる」ということを主体的に実施することにある。課題に対する理解が十分できない者や提出の期日が守られなかった生徒が若干名いた。 (6) トミタン・ブログの投稿記事数は25件であったが、更新が時期によってムラがある。コンスタントな情報提供が必要である。
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> (1) オープンキャンパスの参加者目標数を120名とする。次年度は重点的にPRに努めていく。また、家庭科教諭等との連絡協議会の継続をとおして、高校に介護福祉に関する正しい理解に繋げていきたい。 (2) 生徒の資格取得への志向は高く、介護福祉士以外の資格に対する興味・関心もある。卒業後の多様な職業選択に繋げることができるよう、検討を行っていく。 (3) トミタン・ブログの更新を積極的に実施し、年間30件以上、記事の投稿ペースのムラをなくすことを目標とする。学内・学外での授業の様子を取り上げて、生徒の介護福祉への興味・関心を引くことができるようにする。 (4) 入学前課題のレポート提出状況を把握し、実施が困難と推測される場合には、個別に連絡をとるなど対応を図っていく。また、レポートを入学後の授業に反映することで、福祉・介護に関する興味関心を深めることや達成感に繋げていく。

2. 教育課程・授業

現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 医療的ケアの導入にあたり、平成26年度入学生から教育課程を変更した。変更点は、「英語Ⅰ・Ⅱ」（通年）を「英語」（1年前期）とし、「アクティビティ演習Ⅰ（表現）」、「アクティビティ演習Ⅱ（総合）」（2年後期）を「アクティビティ演習」に統合した。医療的ケアは、「医療的ケアⅠ」（講義）2年次前期の開講、「医療的ケアⅡ」（演習）2年次後期の開講とした。 (2) 選択科目の履修に向け、オリエンテーションやホームルームを活用し、科
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>目の意義やねらいを説明した。さらに、就職後に介護福祉士に求められる業務と授業内容を結び付け、選択科目のねらいについて説明した。結果、「障害者とスポーツ」、「国語表現法」等も履修希望者が増加し、「レクリエーション概論・活動援助法」は100%の履修となった。レクリエーション・インストラクターの資格取得を目指し、意欲的に学外での実践に参加している。</p> <p>(3) 「介護福祉総合演習Ⅰ・Ⅱ」を、介護福祉士資格取得の基礎学力の確認と卒業時共通試験に向けた取り組みに位置付けて開講した。集合学習と理解度を勘案してのグループ分けによる授業を並行して実施した。「社会の理解」「こころとからだ」「全教科低得点」の3グループで、要点解説、質疑応答を重点に基礎学力を固めるように取り組んだ。外部模試を2回と「卒業時共通試験」直前に校内模試を2回行った。結果、45名中41名が合格(合格率91%)した。</p>
今後の対応	<p>(1) 平成27年度から全学科一斉にWebシラバスが施行される。毎回の授業評価、予習・復習を明確にし、より分かりやすい授業展開の一助とするために科目間連携の充実が求められることとなる。このことは、「卒業時共通試験」にも活かされる必要がある。学生の意欲・成果について情報交換し、学習成果につなげたい。</p> <p>(2) 「キャリアデザイン演習」の授業組み立てを、単に就職支援だけでなく「人間力」向上の視点で見直し、個人の成長を確認する体制をつくる必要がある。</p> <p>(3) 実習室にICT対応システム環境が設けられた。介護技術能力の向上に向けて、活用方法・授業内容に創意工夫をし、効果的な授業展開となるよう科目担当とICT担当教員との連携を密にする。</p>

3. 介護実習指導

現状及び課題	<p>(1) 平成26年度の「介護実習の手引き」を改訂した。学生にとって学内の授業はもちろん実習場でも活用できるように内容を補足し、特に、記録に関する説明文や記載例を追加した。また、それぞれの実習科目に対応した評価基準を明確にした。</p> <p>(2) 介護過程のアセスメントシートを、ICFの生活機能モデル図を基に、A4版からA3版へシートを大きくし、情報を整理して書きやすくした。</p> <p>(3) 実習生の配属に関しては、一施設に複数名配属するようにしている。しかし、交通手段や受入れ先の事情から配属に苦慮する状況が続いている。そのため、1人実習の割合が増えてきた。</p> <p>(4) 体調あるいは学力に課題を抱えている学生は、巡回指導回数の増加や事前の施設との調整などを行い、効果的な実習になるよう配慮した。</p> <p>(5) 実習の振り返りに関しては、巡回担当の教員が「実習報告集」の原稿を個別指導し、学生自身による実習の振り返りに努めた。レポートのまとめ方・書き方についての基礎が十分に備わっていない学生が見受けられるので、さらに個別指導に努めていきたい</p>
今後の対応	<p>(1) 訪問介護実習の受入先が減少しているため配属に苦慮しているが、新たな実習施設を加えることで対応していきたい。</p> <p>(2) 教育効果が高まるよう実習指導者との連携を深めるとともに、学内では「実</p>

	<p>習の手引き」の検討と「経験録」の改訂を行い、両方の有効活用を図っていききたい。</p> <p>(3) 学生の個人情報の開示に当たっては、倫理的配慮に留意し、実習成果が上がるように、指導者との連携を密にする必要がある。</p> <p>(4) 身体状況や精神状況に特別配慮しなければならない学生等、多様な学生に対し、実習要件や条件を、単位認定や卒業要件を含めて検討していく必要がある。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 学生指導

<p>現状及び課題</p>	<p>(1) 大学祭保護者懇談会は、1年生18名、2年生10名、計28名の参加があった。今年度初めて、懇談会の前に保護者対象に、就職特別講演会を実施した。保護者からは好評を得た。</p> <p>(2) 学業の継続に困難な状況がみられる学生には、教員間で情報交換を密にし、必要に応じて保護者に連絡を取るなど、学習継続の支援に努めた。また、保健室と連携し、カウンセラーによる継続的な支援をおこなった。</p> <p>(3) 委託訓練日誌を学科共有でweb上に開設した。専任教員が毎回の授業終了後に入力するシステムを取り入れた。また、個別面談を随時行い、就職に向けた助言相談を中心に意向確認をおこなった。</p> <p>(4) 富山県介護福祉士等修学資金の貸与者の推薦においては、学科長による面接を行い、志望理由や専門職への意欲を確認し、修学資金の意義と貸与を受けける責任を理解させたうえで推薦を決定した。1年生8名が貸与された。</p> <p>(5) 学生のなかには社会規範への関心が低い者もあり、社会常識やモラルなどに具体的な助言・指導が必要である。また、学生生活とアルバイトとの両立をはじめ、幅広い生活指導が求められる。</p> <p>(6) 体調の変動、学習意欲の低下、進路への迷い、友人間のトラブル等メンタル的な支援が必要な学生が少なくない。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>(1) 日頃から学習環境の改善指導に努め、介護福祉士を目指す者として生活環境を整えることの重要性と、社会人としてのマナーやモラルを学ぶ機会をもち、行動変容に導いていく。自己の体調管理に責任を持つよう働きかけ、自ら体調不調時の対応を考える力を身につけさせる。</p> <p>(2) 学生が抱える生活問題、悩みをできるだけ早くキャッチし、その後の、適切な指導に反映できるよう、全員への個別面談を入学時、学期毎に実施し、日常的な様子の把握に努めていく。</p> <p>(3) 保護者懇談会への関心を高めてもらえるよう、企画、内容を検討し、保護者側のニーズを把握しながら個別懇談につなぐ体制を整える。</p> <p>(4) メンタル面が原因となって、学生生活への適応・順応がスムーズにいけない学生には、周囲の理解と援助を促しながら本人の安定と継続に繋がる環境を整える。併せて、保護者との連絡を密に行う。</p> <p>(5) 家庭の様子を把握し、これまでの学習状況や健康面での課題等、保護者との連携のもとで継続的に働きかけていく必要がある。</p>

5. 社会参加活動

<p>現状及び課題</p>	<p>(1) 1・2年生全員が5つのグループに分れ、学科独自の「提案型」ボランティア活動に取り組んだ。グループごとに担当教員を割り振り、学生自身でいつでもこの施設を訪問し、どんなことをするかなど企画し、年間を通じて活動するものである。しかし、1つのグループだけ活動できていなかった。</p> <p>(2) 「提案型」ボランティア活動は、平成20年度から続く学科の伝統的な活動となっている。もっと学生自身の学びの機会になるよう、あり方を見直す時期にきている。</p> <p>(3) 今年度のボランティアの延べ人数は194人であるが、1年生は一人当たり3.5回の参加があるが、2年生になると途端に参加回数が減って一人1回にまでなってしまうのが、近年続いている課題である。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>(1) 「提案型」ボランティア活動の自主的な取り組みを進めるため、「トミタンアワー」の有効活用と、年間を通じての活動計画作りに取り組む。</p> <p>(2) 計画→実施→評価として常に実施後の振り返りを行ったり、受入施設のニーズを調査したりするなど、活動内容がマンネリ化しないように1・2年共同で準備にあたるなどの検討を要する。</p> <p>(3) 2年次になるとボランティア活動への参加意欲が低下する傾向が見られる。コミュニケーション能力やレク活動の企画力などの向上に向け、専門職としての大切な実践の場となることに理解を深められるよう指導していく必要がある。</p>

6. 所属関係団体

<p>現状及び課題</p>	<p>(1) 富山県介護福祉士養成校協会の会長校として、県の関係部局と連携を取りながら、他の3校と協働して福祉・介護人材参入促進事業に取り組んだ。また「介護の日」啓発事業をはじめとする関係団体との協働も推進した。</p> <p>(2) 富山県介護福祉士養成施設協会の事務局校として、県内の養成施設の意見の取りまとめや県当局への要望提出、ならびに、中央やブロックの協会と連携しながら、他の3校への情報提供にも努めた。</p> <p>(3) 富山県介護福祉士養成施設協会の会長校を平成15年の協会設立時から務めているが、他3校との持ち回りについては学校間の意見が分かれ、実現できずにいる。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>(1) 県養成校協会としてのまとまりを保持しつつ、県補助事業や県予算による修学資金などの県への統一要求をとりまとめながら、養成校協会として啓発活動に努める。</p> <p>(2) 他県にならい、会長校を持ち回りとすることで、学校間の責任と負担を公平化したいところであるが、互選が原則であるため、今後も他校の理解が得られるよう話し合いを持っていく。</p>

7. 地域社会への貢献

<p>現状及び課題</p>	<p>(1) 高校生向けの「楽しい福祉セミナー」をオープンキャンパスⅢと同時開催でおこない、学科の紹介をするとともに、ミニ授業やミニ講義で福祉の学びへの興味関心を高められるよう取り組んだ。講師には、学科の卒業生3名のほか、福祉施設で活躍されている職員2名を招いた。</p>
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>(2) 県厚生企画課からの補助事業ならびに、県障害福祉課からの委託事業を受けて、広く県民を対象とした「福祉・介護フォーラム」や本学学生を対象とした施設見学などを開催した。学生も含めて多くの人が、介護福祉士の専門性をあらためて認識する機会にできた。</p> <p>(3) 中学校への出前講座では卒業生に福祉教育サポーターとして協力を依頼し、就労についてのミニ講義や車いす、アイマスクなどの体験学習を実施した。福祉の学びの多様性とおもしろさを中学生に感じてもらえた。</p> <p>(4) 介護技術講習会を開催し、介護の仕事に就きながら介護福祉士の資格取得を目指す人たちの支援に努めた。</p>
今後の対応	<p>(1) 介護フォーラムの参加者が思うように集まらず、広報手段に工夫が求められる。併せて、どのようなテーマに社会的ニーズがあるのか、また多くの県民に訴求力のある著名な講師をどう選ぶかなど、企画全体の見直しが求められる。</p> <p>(2) 介護技術講習会の受付は先着順となっていることから、早朝あるいは夜間から並ぶ人もおり、まだ寒い時期でもあることから健康不安に対する策を講じる必要がある。</p>

8. 研究・社会活動

現状及び課題	<p>(1) 専任教員それぞれの専門分野に関わる講演・講義、シンポジウム等への講師、あるいは行政及び関係団体等の審議会や審査会等に委員として参加し、社会貢献に積極的に努めた。</p> <p>(2) 研究発表が2本であった。また、著書・論文等の執筆においても昨年より減少した。個々の教員の専門性に合致した研究テーマだけでなく、教員がチームを組んで補完し合って取り組める研究テーマに関して意見交換の場を設けるなど、効率的な研究テーマの構築が必要である。</p>
今後の対応	<p>(1) 個々の教員の専門性を活用できる研究チームを学科内で毎年編成するなど、学科の総合力で研究を進められる体制を整備する。</p> <p>(2) 学科の年間計画の中に、その年に学科で取り組む研究テーマについて話し合うスケジュールを組んでおく。</p>

9. 進路指導（就職・進学）

現状及び課題	<p>(1) 求人と就職先の開拓のため、県内外の福祉施設等 226 カ所に求人票・リーフレットを発送した。結果、県内 154 件、県外 91 件の求人を得ることができた。</p> <p>(2) 年間就職・進学指導（活動）計画に基づき就職指導を行い、就職希望者全員が3月末に希望施設等へ就職することができた。</p> <p>(3) 編入学希望者（四年制大学）には1年次後期から意向調査を行い、個別相談及び編入学のための「先輩と語る会」を開催した。受験対策、大学生活の助言を先輩から具体的にアドバイスを受けた。志望校のオープンキャンパスや入学説明会に編入学希望者全員が参加した。平成26年度は同法人の子ども育成学部へ5名、隣県の社会福祉学部へ1名合格した。</p> <p>(4) 委託訓練生では、就職先を決める際、慎重になりなかなか決まらない者、決めようとならない者など個別支援の必要性が高い学生が見受けられた。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>(5) 委託訓練生の場合年齢が 40 歳を超える学生の就職先については、福祉現場の人材不足から、年齢制限の規定が緩和されたり希望先への配慮がされるところが増加した。</p>
今後の対応	<p>(1) 事業所や施設の特徴を十分に理解していない学生がいる、よりよい選択につながるよう、学生の理解度の把握と個々の学生に合った就職指導に努める。</p> <p>(2) 受験先の決定に向けて、これまでの「先輩と語る会」や施設長による「就職特別講義」だけでなく、職場説明会での話の聞き方、心構えを中心にした指導と選び方と決め方の両面において就職支援センターと連携していく必要がある。</p> <p>(3) 編入学に対する学生の意思は、家庭の事情等で変更する場合もあるので、適宜個別の相談を行う。また、モチベーションを高め、不安を軽減するための「編入学 先輩と語る会」での個別相談機能を充実していく。</p> <p>(4) 入学時点ですでに編入学を前提にした学生もいることから、1 年前期からの編入学への意思を確認し、どのような準備が必要か助言していく。また、就職後の通信教育による編入学への関心がある学生には、「先輩と語る会」に通信教育を修了した卒業生の参加を試みる。</p> <p>(5) 委託訓練生が、年齢を理由に正規採用を渡られるケースでは、県老協や県老健協、県経協など関係団体への理解と協力を求めるような働きかけを県の協力を得ながら、県介護福祉士養成校協会を通して行っていく。</p> <p>(6) 今後、国家資格を取得せず卒業となる学生に対しては、卒業までの学習意欲の維持と新たな目標設定に向けて、本人ならびに保護者の進路への要望も確認しながら、進路指導に繋いでいく。</p> <p>(7) 受験先の決定に手間取る学生については、施設見学や施設でのボランティア活動に積極的に向かうことを指導していく。その中で、施設の情報収集や自己アピールの大切さを助言していく。</p> <p>(8) 自助努力での採用獲得が困難な学生に対しては、保護者を交えた三者面談も視野に入れ、学科教員による就職先の個別開拓や場合によっては事前の訪問による説明を行っていく必要がある。</p>

II. 資料編

1. 学生募集・入学試験・広報

1. 学生募集活動

(1) 見学会等

名 称	実施日	参加者	概 要
オープンキャンパス I	平成 26 年 6 月 14 日 (土)	福祉 15 名	介護福祉士の仕事と学び 人類の進歩と調和がここに。科学が介護を変える！ 今日から役立つ介護の技 ハンガー活用術 生きるのがうれしくなる、食事への介護
オープンキャンパス II	平成 26 年 7 月 12 日 (土)	福祉 9 名	
オープンキャンパス III	平成 26 年 8 月 24 日 (日)	福祉 60 名	
入試説明会	平成 26 年 9 月 27 日 (土)	福祉 24 名	
大学祭・進学相談会	平成 26 年 10 月 18 日 (土)	福祉 2 名	

2. 入学試験

(1) 平成 27 年度入試

(平成 27 年 4 月 4 日現在)

	定員	出願	受験	合 格	入 学	備 考
推薦・併設校	} 45	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	*[入学者内訳] 県内 34 県外 0
・指定校		10(3)	10(3)	10(3)	10(3)	
・公募制専願		6(3)	6(3)	8(4)	7(4)	
・公募制 併願	1	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	
市町村連携型	若干名	0	0	0	0	
小計	55	20(8)	20(8)	22(9)	21(9)	* () 内は 男子
自己推薦	若干名	3(0)	3(0)	3(0)	2(0)	
一般 I 期	12	8(2)	8(2)	11(3)	5(2)	
一般 II 期	若干名	2(0)	2(0)	3(1)	(0)	*第 2 希合格者 推薦 2 I 期 4 II 期 1
センター前期	3	4(0)	4(0)	4(0)	1(0)	センター利用 中期入試 1
センター中期	若干名	1	1	2	0	
センター後期	若干名	0	0	0	0	
社会人	若干名	0	0	0	0	
委託職業訓練生	[20]	5(2)	5(2)	5(2)	5(2)	
総計	70[20]	43(12)	43(12)	50(15)	34(13)	

(2) 学生の在籍状況 【学年別出身県別状況】(平成 27 年 3 月 20 日現在)

	1 年生	2 年生	計
富山	41	44	85
石川	1	1	2
新潟	1	0	1
計	43	45	88

【男女別】

	1 年	2 年	計
男子	10	14	24
女子	33	31	64
計	43	45	88

【平成 26 年 4 月→平成 27 年 3 月までの異動状況】

平成 26 年 8 月 1 年生(26 年度入学生) 1 名休学
 9 月 1 年生(26 年度入学生) 1 名休学
 10 月 2 年生(24 年度入学生) 1 名復学
 12 月 2 年生(24 年度入学生) 休学中 1 名退学
 平成 27 年 3 月 1 年生(26 年度入学生) 休学中 1 名退学

(3) 入学前指導

ア. 目的: 本学科への関心を高め、入学後における勉学に積極的に取り組む準備をするとともに、高齢者が生きてきた時代を知ることにより、高齢者理解の足がかりとする。

イ. 対象: 推薦入試合格者 21 名、自己推薦入試合格者 2 名の計 23 名

ウ. 課題

課題 1. 祖父母または親戚や近所の高齢者(70 歳以上)から、インタビューして、少年期から青年期にかけて、以下の 3 項目について話を聞いてまとめる。

① 社会状況 ② 生活様式 ③ 家族構成

課題 2. 課題 1 から、興味・関心・疑問のある事柄を 2 つ選び、タイトルを付け文献等でより深く調べ、まとめる。

課題 3. 課題 1・課題 2 を通して、思ったことをまとめる。

エ. 提出日: 平成 27 年 2 月 14 日(金)

オ. 全員提出

(4) 本学訪問・校内説明・出張授業・進学相談会等への対応および参加状

①本学訪問説明・見学

期日	高校名	人数	内容
平成 26 年 5 月 21 日(水)	南砺福野高校 3 年生	39 名	説明・見学
平成 26 年 7 月 2 日(水)	上市高校 1 年生	27 名	説明・見学
平成 26 年 7 月 8 日(火)	小杉高校 1 年生	39 名	説明・見学
平成 26 年 7 月 9 日(水)	八尾高校 3 年生	21 名	説明・授業
平成 26 年 7 月 11 日(金)	龍谷富山高校 2 年生	41 名	説明・見学
平成 26 年 7 月 25 日(金)	富山いずみ高校 1 年生	32 名	説明・見学
平成 26 年 10 月 15 日(水)	富山いずみ高校 保護者	16 名	説明・見学
平成 26 年 12 月 5 日(金)	富山北部高校 1 年生	40 名	説明・見学
平成 27 年 3 月 26 日(木)	見学バスツアー	8 名	説明・授業

②校内説明

期日	高校名	人数	内容
平成 26 年 5 月 10 日(土)	富山商業高校 3 年生	3 名	校内説明会
平成 26 年 6 月 16 日(月)	金沢辰巳丘高校 2 年生	5 名	校内説明会
平成 26 年 6 月 18 日(水)	新湊高校 2 年生	9 名	校内説明会
平成 26 年 7 月 8 日(火)	富山国際大学附属高校 2 年生	20 名	校内説明会
平成 26 年 7 月 8 日(火)	鶴来高校 1.2 年生	4 名	校内説明会
平成 26 年 7 月 22 日(火)	氷見高校 2 年生	7 名	校内説明会
平成 26 年 10 月 25 日(土)	附属高校 1 年生	6 名	校内説明会
平成 26 年 12 月 12 日(金)	鵬学園高校 1 年生	3 名	校内説明会
平成 27 年 2 月 3 日(火)	金沢商業高校 2 年生	3 名	校内説明会
平成 27 年 2 月 13 日(金)	富山西高校 1 年生	12 名	校内説明会
平成 27 年 3 月 9 日(月)	鵬学園高校 1 年生	5 名	校内説明会
平成 27 年 3 月 20 日(金)	南砺福野高校 1.2 年生	6 名	校内説明会

③出張授業

期日	高校名	人数	内容
平成 26 年 9 月 24 日(水)	中央農業高校 2.3 年生	26 名	介護福祉と彩りケア
平成 26 年 11 月 10 日(月)	上市高校 2 年生	13 名	認知症とユマニチュケア
平成 26 年 11 月 11 日(火)	上市高校 2 年生	20 名	認知症とユマニチュケア

④進学相談会

期日	場所	人数	内容
平成 26 年 4 月 21 日(月)	ウイング・ウイング高岡	40 名	進学相談会
平成 26 年 5 月 22 日(木)	高岡文化ホール	10 名	進学相談会
平成 26 年 9 月 16 日(火)	ANAクラウンプラザホテル	26 名	進学相談会

	富山		
平成 26 年 12 月 16 日 (火)	ウイング・ウイング高岡	7 名	進学相談会
平成 27 年 1 月 19 日 (月)	CIC ビル	18 名	進学相談会

⑤福祉学科特別高校訪問

期 日	高校名
平成 26 年 11 月 20 日 (木)	高岡向陵高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	石動高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	小矢部園芸高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	となみの高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	高岡龍谷高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	富山西高校
平成 26 年 11 月 21 日 (金)	龍谷富山高校

(5) 広報活動

①新聞記事

掲載日	新聞名	記事タイトル
平成 26 年 6 月 15 日 (日)	北日本・富山新聞	カモシカ被害防ごう
平成 26 年 6 月 29 日 (日)	読売新聞	介護教育の課題学ぶ 三重で研修会 西井啓子教授
平成 26 年 7 月 4 日 (火)	富山新聞	介護福祉奨学生 県内から 3 人決定
平成 26 年 7 月 17 日 (木)	富山新聞	奨学生通知書を贈呈 生命保険協会
平成 26 年 10 月 18 日 (土)	富山新聞	富山で開発推進大会 福祉器具を表彰
平成 26 年 11 月 12 日 (水)	富山新聞	学生ら体操や寸劇 富山で介護の日 フェスティバル
平成 26 年 11 月 18 日 (火)	富山新聞	卒業研究を披露
平成 27 年 2 月 5 日 (木)	富山新聞	城山中学出前講座

②「福祉学科の概要」A4版×4冊

(6) ブログ記事

掲載日	タイトル
平成 26 年 4 月 16 日 (水)	日本介護福祉士会名誉会長による特別講義を実施しました
平成 26 年 5 月 2 日 (金)	学外研修 in 高山を実施しました
平成 26 年 6 月 20 日 (金)	平成 26 年度施設介護実習指導者会議を開催しました。
平成 26 年 7 月 16 日 (水)	卒業生による「就職特別講座・先輩と語る会」を実施しました
平成 26 年 7 月 22 日 (火)	第 19 回楽しい福祉セミナーのご案内
平成 26 年 7 月 24 日 (木)	福祉学科の特色あふれる授業を紹介します。
平成 26 年 8 月 7 日 (木)	特別養護老人ホーム施設長による就職特別講座を実施しました

平成 26 年 8 月 12 日 (火)	授業紹介:生活支援技術Ⅲ 医療的ケア
平成 26 年 8 月 15 日 (金)	今年も元気に G P 活動
平成 26 年 8 月 20 日 (水)	～福祉の職場総合フェア～に参加しました
平成 26 年 8 月 22 日 (金)	「編入学 先輩と語る会」を開催しました
平成 26 年 8 月 27 日 (水)	「楽しい福祉セミナー」を開催しました
平成 26 年 9 月 25 日 (木)	富山短期大学 2014 福祉・介護フォーラムのご案内
平成 26 年 10 月 16 日 (木)	「総合実習」特別講義を受けて
平成 26 年 10 月 22 日 (水)	保護者懇談会で特別養護老人ホーム施設長による特別講演開催
平成 26 年 10 月 27 日 (月)	平成 26 年度福祉用具・アイデアコンクールに入賞しました
平成 26 年 11 月 7 日 (金)	平成 26 年度福祉学科総合的研究発表会のご案内
平成 26 年 11 月 8 日 (土)	看取り介護への思いを新たに 福祉・介護フォーラムを開催しました
平成 27 年 1 月 8 日 (木)	総合実習報告会を開催しました
平成 27 年 1 月 13 日 (火)	就職内定状況 (福祉学科)
平成 27 年 1 月 26 日 (月)	外部講師による「介護過程各論Ⅲ」特別講義を実施しました
平成 27 年 2 月 3 日 (火)	「看取り介護」の授業で卒業生による特別講義を実施しました
平成 27 年 2 月 24 日 (火)	第 18 回介護福祉リカレントセミナーのご案内
平成 27 年 3 月 3 日 (火)	介護福祉士養成科職業訓練受講生 制度を活用し、福祉専門職に
平成 27 年 3 月 9 日 (月)	新たにレクリエーション・インストラクター 25 名が誕生します

2. 教育課程・授業

1. 選択科目の履修状況

2年生（44名）			1年生（前期44名・後期42名）		
科目名	履修率 （%）	履修 人数	科目名	履修率 （%）	履修 人数
現代社会と女性	66	29	現代社会と人間	98	43
健康スポーツⅡ	11	5	生活と情報	100	42
児童福祉論	70	31	福祉と情報	98	41
地域福祉論	43	19	国語表現法	100	44
ボランティア・市民活動論	55	24	レクリエーション概論	100	44
アクティビティ演習Ⅰ（表現）	32	14	レクリエーション活動援助法	100	42
アクティビティ演習Ⅱ（総合）	73	32			
障害者とスポーツ	32	14			
介護総合演習Ⅰ	100	44			
介護総合演習Ⅱ	100	44			

2. 「総合的研究」の指導（2年生45名を11班に分けて指導）

- ・中間発表（ポスターセッション） 平成26年5月7日（水）～12日（月）12:40～13:00
- ・卒業研究リハーサル 平成26年11月17日（月）1・2限
- ・卒業研究発表会 平成26年11月17日（月）3・4限 C館301教室
学科外の出席者 17名（内訳：施設9名、学校関係7名、学内1名）
- ・「卒業研究・第18集」 A4版（66頁 450部作成）

3. 授業科目以外の学習

（1）特別講座

①介護福祉士特別講義

テーマ：「介護福祉士をめざす学生の皆さんへ」
 期 日：平成26年4月9日（水）9:30～10:30
 講 師：日本介護福祉士会名誉会長 田中雅子氏
 （富山県介護福祉士会 会長）
 対 象：1年生 46名

③救急法講習会

テーマ：「普通救命Ⅰ（3時間）」
 内 容：応急手当の重要性、心肺蘇生、除細動器の使用法、止血法
 期 日：平成27年2月19日（木）9:00～12:00
 講 師：富山市呉羽消防署 救急救命士1名・応急手当普及員5名
 対 象：2年生44名が普通救命講習修了

④受験対策講座

テーマ：「福祉住環境コーディネーター検定試験受験講座」

期 日：平成 26 年 11 月 13 日（木） 16：30～18：00

講 師：空創建設計画事務所 林千晶 氏

対 象：福祉住環境コーディネーター検定試験 受験生 10 名

(2) 学外の研修会等への参加

①富山県介護実習・普及センター介護講座受講

期 日：平成 26 年 12 月 1 日（月） 13：30～16：00（20 名・A 班）

平成 26 年 12 月 15 日（月） 13：30～16：00（21 名・B 班）

対 象：1 年生 41 名

会 場：サンシップとやま 引率教員：2 名

②障害福祉レベルアップ事業（富山県厚生部障害福祉課委託事業）

期 日：平成 27 年 2 月 10 日（火） 13：30～15：00

対 象：1 年生 41 名

会 場：障害者支援施設

① 高志ライフケアホーム

②高志ワークホーム

引率教員：2 名

4. 卒業時の資格取得状況

資格取得者数

項 目	人 数 (名)
卒業者数	45
介護福祉士	45
社会福祉主事任用資格	45
レクリエーション・インストラクター	25
福祉住環境コーディネーター 2 級	2
福祉住環境コーディネーター 3 級	2
普通救命講習修了	44

5. 教育課程関係事務

(1) 福祉学科教育課程懇談会の開催

期 日：平成 27 年 3 月 11 日（水） 14:00～16:00

出席者：12 名

非常勤講師 4 名

専任教職員 8 名

(2) 日本介護福祉養成施設協会「平成 26 年度 卒業時共通試験」の実施

期 日：平成 27 年 2 月 18 日（水） 午前の部 9:30～11:20（110 分） 68 問

午後の部 12:45～14:25（100 分） 52 問

対 象：2 年生 45 名

(3) 介護福祉士の登録事務手続き

平成 27 年 3 月 18 日(水)に 44 名分、3 月 31 日(金)に 1 名分の登録申請書類を社会福祉振興・試験センターへ送付した。

(4) レクリエーション・インストラクター資格の登録事務手続き

平成 27 年 1 月の間に登録申請事務手続きに関する学生指導を実施。

平成 27 年 1 月 16 日 (木) に 25 名分をとりまとめ、(財) 日本レクリエーション協会に一括申請した。

6. 所轄官庁との関係

(1) 東海北陸地方厚生局

- ① 「社会福祉士及び介護福祉士法令第 5 条に基づく報告書 平成 26 年 5 月 30 日 (金)
※インターネットオンラインにより提出し、資料等は別途郵送した。
- ② 介護福祉士学校変更届出書 平成 26 年 5 月 30 日 (金)
 - ・実習指導者変更
- ③ 介護福祉士学校変更届出書 平成 26 年 4 月 28 日 (月)
 - ・学則変更
 - ・専任教員の担当科目に係る変更

3. 介護実習指導

1. 介護実習施設数・事業所数

◆ 1年生（基礎実習 42名・介護計画実習 41名）

内 容／実習の種類	基礎実習				介護計画実習	
	施設介護実習		訪問介護実習			
実習期間*	平成 26 年 8 月 18 日 ～8 月 26 日	平成 26 年 8 月 21 日 ～8 月 29 日	平成 26 年 8 月 27 日 ～8 月 29 日	平成 26 年 8 月 18 日 ～8 月 20 日	平成 27 年 2 月 16 日 ～2 月 27 日	
実習生人数	23	19	19	22	39	
実習施設数	15	14	13	15	29	
実 習 施 設 内 訳	特別養護老人ホーム	8	8			15
	介護老人保健施設	3	2			14
	救護施設	0	0			0
	障害者支援施設	2	2			0
	障害児入所施設 ・療養介護施設	0	0			0
	小規模多機能型	2	1			
	グループホーム	0	1			
	富山型デイサービス	0	0			
	訪問介護事業所			13	15	

※所定の期間以外の実習

- ・平成 26 年 9 月 10 日～9 月 12 日「訪問介護実習」1 年生 1 名（訪問介護事業所 1 ヲ所）
- ・平成 27 年 2 月 23 日～3 月 6 日「介護計画実習」1 年生 1 名（特別養護老人ホーム 1 ヲ所）
- ・平成 27 年 3 月 9 日～3 月 20 日「介護計画実習」1 年生 1 名（特別養護老人ホーム 1 ヲ所）

◆ 2年生 (44名)

内 容／実習の種類		介護過程実習	総合実習	訪問介護実習
実習期間*		平成 26 年 8 月 18 日 ～9 月 12 日	平成 26 年 10 月 27 日 ～11 月 7 日	1 班:平成 26 年 6 月 9 日～ 6 月 13 日 2 班:平成 26 年 6 月 16 日～ 6 月 20 日
実習生人数		44	44	44
実習施設数		28	22	17
実 習 施 設 内 訳	特別養護老人ホーム	13	8	
	介護老人保健施設	13	1	
	救護施設	0	0	
	障害者支援施設	1	1	
	障害児入所施設 ・療養介護施設	1		
	小規模多機能型	0	4	
	グループホーム	0	7	
	富山型デイサービス	0	1	
	訪問介護事業所			17

※所定の期間以外の実習

- ・平成 26 年 10 月 14 日～10 月 18 日「訪問介護実習」2 年生 1 名（訪問介護事業所 1 ヲ所）
 - ・平成 26 年 10 月 27 日～11 月 21 日「介護過程実習」 〃 （介護老人保健施設 1 ヲ所）
 - ・平成 27 年 3 月 2 日～3 月 13 日「総合実習」 〃 （特別養護老人ホーム 1 ヲ所）
- 開始日延期)

2. 実習指導の状況

内 容／実習の種類	基 礎	介護計画	介護過程	総合	訪問介護実習
腸内細菌検査	平成 26 年 7 月 22 日 ～7 月 24 日	平成 27 年 1 月 20 日 ～1 月 22 日	平成 26 年 7 月 22 日 ～7 月 24 日	平成 26 年 10 月 2 日 ～10 月 6 日	平成 26 年 5 月 13 日 ～5 月 15 日
実習事前訪問打合せ	平成 26 年 7 月 22 日 (施設) 平成 26 年 7 月 25 日 (訪問)	平成 27 年 1 月 30 日	平成 26 年 7 月 24 日	平成 26 年 10 月 15 日	平成 23 年 5 月 19 日
実習事前報告	平成 26 年 7 月 29 日 (施 設) 平成 26 年 8 月 7 日 (訪問)	平成 27 年 2 月 10 日	平成 26 年 7 月 28 日	平成 26 年 10 月 22 日	平成 26 年 6 月 4 日
介護実習巡回指導	延べ 67 回	延べ 74 回	延べ 136 回	延べ 52 回	延べ 28 回
帰校日			平成 26 年 8 月 30 日		
実習事後報告	平成 26 年 9 月 2 日 (施設) 平成 26 年 9 月 2 日 (訪問)	平成 27 年 3 月 2 日	平成 26 年 9 月 29 日	平成 26 年 11 月 18 日	平成 23 年 6 月 30 日
実習報告会	平成 26 年 10 月 24 日	平成 27 年 4 月		平成 27 年 1 月 7 日	

3. 施設見学

(1) 学外研修

期 日：平成26年4月24日（木）

対 象：1年生 44名・2年生 43名

内 容：1年生 特別養護老人ホーム「にながわ光風苑」
2年生 精神障害者地域生活支援センター「ゆりの木の里」

(2) 高齢者福祉施設

期 日：平成26年7月1日（火）13:00～16:40

対 象：1年 46名

内 容：介護老人保健施設「みどり苑」

(3) 障害者関係施設

期 日：平成27年2月10日（火）13:30～15:00

対 象：1年 46名

内 容：障害者支援施設「高志ライフケアホーム」
障害者支援施設「高志ワークホーム」

4. 特別講義

(1) 入学時オリエンテーションにおける特別講義（再掲）

テーマ：「介護福祉士をめざす学生の皆さんへ」

期 日：平成26年4月9日（水）9:30～10:30

講 師：田中 雅子 氏（日本介護福祉士会名誉会長）

対 象：1年生46名

(2) 訪問介護実習、基礎実習（訪問）に向けて

テーマ：「訪問介護の実際について」

期 日：平成26年5月19日（月）11:00～12:00

講 師：中山 信子 氏 北陸メディカルサービス株式会社（八尾営業所）

対 象：1年生42名・2年生44名

(3) 基礎実習（施設）に向けて

テーマ：「施設における介護と介護職員の役割」

期 日：平成26年7月8日（火）11:00～12:00

講 師：赤壁 敬子 氏 特別養護老人ホーム「こぶし園」介護副主任

対 象：1年生42名

(4) 介護過程実習に向けて

テーマ：「施設におけるケアプランと個別援助計画について」

期 日：平成26年7月9日（水）9:30～10:30

講 師：村椿 裕子 氏 介護老人保健施設「黒部市介護老人保健施設カリエール」
介護主任

対 象：2年生45名

(5) 総合実習に向けて

テーマ：「介護福祉士に求められる援助活動の基本とその実際」

期 日：平成26年10月10日（金）11:00～12:00

講 師：松原 良子 氏 認知症対応型共同生活介護「グループホームほたるの里」
施設長

対 象：2年生45名

(6) 介護計画実習に向けて

テーマ : 「介護計画—個別ケアを理解するための利用者との関わり—」「多職種との連携」
期 日 : 平成 27 年 1 月 14 日 (水) 11:00~12:00
講 師 : 荒永 哲郎 氏 介護老人保健施設 「富山リハビリテーションホーム」 介護職員
対 象 : 1 年生 41 名

5. 介護実習指導者会議 (施設介護実習)

- (1) 東部地区 平成 26 年 6 月 10 日 (火) 13:30~16:00 富山短期大学
＜参加者＞ 介護実習施設の実習指導担当者 40 名
学科教職員 6 名
＜内 容＞ ①平成 26 年度 介護実習計画(案)について
・平成 26 年度の主な変更点
・平成 26 年度の実習生の配属案
- (2) 西部地区 平成 26 年 6 月 11 日 (水) 13:30~16:00 富山短期大学
＜参加者＞ 介護実習施設の実習指導担当者 29 名
学科教職員 6 名
＜内 容＞ ①平成 26 年度 介護実習計画(案)について
・平成 26 年度の主な変更点
・平成 26 年度の実習生の配属案
- (3) 訪問介護実習事業所との事前打合わせのための訪問 (実習施設 17 箇所)
平成 26 年 5 月 19 日 (月) ~22 日 (木)
- (4) 介護実習指導者会議欠席施設への対応
・訪問による説明 15 箇所 (学科教員 3 人で担当)

6. 平成 27 年度介護実習受け入れ調査

①事前アンケート調査 平成 27 年 2 月 2 日 (月) 発送

7. 県内介護福祉士養成校四校の連絡協議会 (「6. 所属関係団体」の章で記述)

8. 刊行物

- (1) 平成 26 年度 介護実習の手引き A4 版 102 ページ

4. 学生指導

1. 生活指導等

(1) 清掃指導

行事の折々や学期の節目に随時、D303、D304、D305、D206、D106、D104の各教室、玄関、ロッカー室、トイレの清掃を学生に指導した。

(2) パソコンの整備・貸し出し

学生が自由に使用できるパソコンとして、3階パソコンコーナーにデスクトップ4台、印刷機1台を常設している。また、今年度からノートパソコン7台を学科事務室に保管し、貸し出している。レポート作成や総合的研究で主に活用している。ノートパソコンの使用状況は、1年間で116日貸し出し、月平均9～10日である。貸し出す日が多いのは、6月～12月にかけてであり半数以上の64日である。ICT機器であることから取り扱いに十分注意することを指導し、貸出ノートを作成し管理にあたっている。

(3) アパート生、社会人・学卒者の懇談会

① アパート生の懇談会

期 日：平成26年4月14日（月）（D303教室）

参加者：学生 3名（2年生2名・1年生1名）、教員 3名

② 社会人・学卒者の懇談会

期 日：平成26年4月14日（月）（D304教室）

参加者：学生18名（2年生11名・1年生8名）、教員5名

(4) 学外研修

期 日：平成26年4月24日（木）～25日（金）

場 所：飛騨高山 ひだホテルプラザ

対 象：1年生 46名、2年生 44名、教職員 9名

研 修：①施設見学 2年生— 精神障害者地域生活支援センター「ゆりの木の里」
1年生— 特別養護老人ホーム「こながわ光風苑」

② 交流会

③ 2年生による新入生歓迎会

④ 高山市内グループ散策

(5) こころのふれあいサポーター入門講座

富山県委託事業とやまCOCOLO会（うつ病の人達の社会復帰の支援と家族のケアを実施）

期 日：平成26年12月16日（火）5限（16時30分～18時）

場 所：A330教室

参加者：1・2年合同（経営情報学科と合同で開催）

2. 大学祭（学科企画）平成26年10月18日19日

(1) 「トライ・ザ・介護」ミニミニディサービス 地域の皆さんとふれあい交流 ハンドマッサージ・健康体操・レクリエーションゲーム

来場者数 10月18日（土）約40人（内、高齢者福祉施設から14人）

10月19日（日）約30人（内、高齢者福祉施設から4人）

- (2) 模擬店「駄菓子屋」 1年7組
「豚汁」 2年7組 (2日間合計245杯を販売)

3. 第19回楽しい福祉セミナー

テーマ：「介護イノベーション！あなたのイメージを塗り変える、介護現場のスーパーテクニク」

期日：平成26年8月24日(日) D303教室 13時30分～15時30分

参加者：富山県内高校生 34名 (1年生 8人 2年生 19人 3年生 8人)

講師：富山県介護福祉士会 副会長 舟田伸司氏、
特別養護老人ホーム「こぶし園」事務長 鈴木透氏
学科卒業生3名(介護福祉士)

4. 保護者との連絡

(1) 保護者懇談会

期日：平成26年10月19日(日) D206教室 9:30～12:00

参加者：保護者28名(1年生の保護者18名、2年生の保護者10名)、教員 5名

① 全体会 就職特別講演会

講師 特別養護老人ホーム「にながわ光風苑」施設長 水上正宏氏
演題「あなたの子どもは、どこでどう働くか」

② 個別相談会 相談者数11人 (1年生6人、2年生5人)

(2) 学生の生活指導に関する個別対応

- ・保護者来校による面談 10件(1年生7人)
- ・電話による相談指導 15人(1年生13人、2年生2人)

5. 奨学金等に関する指導及び事務処理(学生課より業務受託)

- (1) 富山県介護福祉士等修学資金(貸与) 1年生 8名(決定通知は、9名、内1名は体調不良により休学としたため辞退した。) 2年生 8名

※主管する富山県社会福祉協議会との連絡調整、応募者の取りまとめ、申請書の念査、学長推薦書の作成、申請、学業成績中間報告、返還に関する学生指導ほか

- (2) 生命保険協会 介護福祉士養成奨学生(支給) 2年生 1名

※事務局との連絡、応募者の面接、学長推薦書

(3) 決定通知交付式等

① 富山県社会福祉協議会介護福祉士等修学資金

期日：平成26年6月27日(水)

会場：D203教室 参加者：学生部長、学科長、各担任、決定者

② 生命保険協会介護福祉士養成奨学生

期日：平成26年7月16日(水)

会場：D203教室

参加者：生保協会理事ならびに事務局長、学科長、2年担任、決定者

- (4) 介護福祉士養成奨学生との懇談会 富山県生命保険協会主催

期日：平成27年2月13日(木)18:30～20:00 ANAクラウンズプラザホテル富山

出席者：生命保険協会会長 副会長 事務局長、副学科長 2年生1名 卒業生1名

5. 社会参加活動

1. 学科としての定例的な活動

富山県障害者スポーツ大会・陸上競技会での補助スタッフ（毎年5月に富山市で開催）

※事前説明会とともに、1年生全員が参加。2年生の有志も数名参加。

2. 募集依頼に応じた活動

開催日時	受入先	内容	人数
5月5日	介護付老人ホーム サンクス高田	利用者への対応、レクリエーション等	1
5月3日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
5月17日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
5月24日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
5月31日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
5月21日	富山県警察本部	富山県警サイバー犯罪対策講習会	3
5月11日	富山県障害者スポーツ協会	選手誘導など	50
6月14日	富山市長岡保育所	長岡保育所バザー	5
6月7日	カタール富山【vs 湘南ベルマーレ】	スポーツイベント補助	1
6月28日	カタール富山【vsV・ファーレン長崎】	スポーツイベント補助	2
6月28・29日	富山県民共生センター サンフォルテ	サンフォルテフェスティバル	5
6月8日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
6月22日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
6月7日	老人保健施設 白雲荘	白雲荘祭 補助	5
6月29日	富山サンダーバーズ【城光寺】	富山サンダーバーズ主催試合・運営スタッフ	9
6月15日	富山市身体障害者福祉協議会	第12回富山市障害者フライングディスク大会	11
6月14日	富山県農村振興課	小菅沼・ヤギの杜 牧柵作り	9
7月5日	二幸介護サービス上越センター	話し相手、お茶出し	1
7月6日	スペシャルオリンピックス日本・富山	太閤山ランド バーベキューお手伝い	5
7月12日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
7月13日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
7月19日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
7月20日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
7月21日	マリエ献血ルーム	献血者への対応等	1
7月6日	富山市手をつなぐ育成会	スポーツ教室補助	3
7月6日	富山サンダーバーズ【城光寺球場】	富山サンダーバーズ主催試合・運営スタッフ	1
7月31日	下村デイサービスセンター	利用者とのコミュニケーションを図る	1
7月26日	特別養護老人ホーム 志貴野長生寮	夏祭り補助	1
8月2日	くれは苑・くれは陽光苑	納涼祭補助	2
8月9日	とやま虹の会	第20回納涼祭	2
8月6日	富山サンダーバーズ【となみ】	富山サンダーバーズ主催試合・運営スタッフ	3
8月30日	みわ苑	第24回みわ苑祭 補助	3

9月6日	にながわ光風苑	納涼祭補助	2
6月8日、9月21日	スペシャルオリンピックス日本・富山	ボウリング	5
11月12日	八尾園	「一日ボランティア体験」	1
1月20日	呉羽あいの風	利用者付添い	1

3. 学生の企画による開発型ボランティア「GP活動」

(1) 目的

①GP活動での学びを地域で実践する機会として、そして、学生に地域貢献をとおした社会教育の場を提供することで、さらなる専門性の向上をめざす。

②実習先以外の福祉施設を訪問することで、福祉事業所の多様性を知り、専門職としての視野を広めると共に、「福祉のまちづくり」へ学生が参加することで地域の活性化を図る。

(2) 活動実績

オリエンテーションの中で2年生が1年生に活動内容を紹介する。1年生は希望の班を選択する。事前に2年生・1年生が共同で活動内容の確認・練習を行い実践した。

【健康体操班】

- ① 日 時：平成26年7月5日(土)14:00～14:30
内 容：健康体操（19人）
場 所：特別養護老人ホーム「梨雲苑ゆうゆう」
- ② 日 時：平成26年7月19日(土)14:00～15:00
内 容：健康体操（8人）
場 所：特別養護老人ホーム「大江苑」
- ③ 日 時：平成26年11月19日(日) 10:00～10:30
内 容：健康体操（7人）
場 所：グラウンドプラザ
- ④ 日 時：平成26年12月20日(土) 14:00～15:30
内 容：健康体操（10人）
場 所：あいの風呉羽（通所介護）
- ⑤ 日 時：平成26年12月26日(金)14:00～15:30
内 容：健康体操（8人）
場 所：特別養護老人ホーム「七美ことぶき苑」

【在宅介護班】

- ① 日 時：平成26年8月9日(土)11:00～12:15（13人）
内 容：県民カレッジ連携講座「富山の魅力再発見」
福祉用具の活用で、豊かな生活と自分らしい生き方の実現を
場 所：富山短期大学F館203号室

【おしゃれ班】

- ① 日 時：平成26年10月25日(土)
内 容：「ハンドマッサージ」（4人）
場 所：志貴野ホーム
- ② 日 時：平成26年11月9日(日) 10:00～16:00
内 容：「ハンドマッサージ」（12人）
場 所：グラウンドプラザ（介護の日）

- ③ 日 時：平成 26 年 11 月 15 日(土) 14:30～16:30
内 容：「ハンドマッサージ」(3 人)
場 所：志貴野長生寮
- ④ 日 時：平成 26 年 12 月 2 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(5 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ⑤ 日 時：平成 26 年 12 月 9 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(5 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ⑥ 日 時：平成 26 年 12 月 16 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(4 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ⑦ 日 時：平成 27 年 1 月 13 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(3 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ⑧ 日 時：平成 27 年 1 月 20 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(4 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ⑨ 日 時：平成 27 年 1 月 27 日(火) 16:30～17:30
内 容：「ハンドマッサージ」(4 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)

【伝承交流班】

- ① 日 時：平成 26 年 7 月 12 日(土)13:00～15:00
内 容：あやとり、けん玉、交流活動 (8 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ② 日 時：平成 26 年 7 月 12 日(土)13:00～15:00
内 容：あやとり他 (6 人)
場 所：あさひホーム北代(通所介護)
- ③ 日 時：平成 26 年 12 月 13 日(土)13:00～15:00
内 容：あやとり他 (7 人)
場 所：あいの風呉羽(通所介護)
- ④ 日 時：平成 26 年 12 月 13 日(土)13:00～15:00
内 容：あやとり他 (7 人)
場 所：あさひホーム北代(通所介護)

3) 具体的な成果

福祉施設利用者や地域住民の方々との触れあいをとおして、「傾聴する姿勢」や「共感する態度」など、コミュニケーションの基本姿勢を再確認する学びの機会となった。

また、「提案型」ボランティアの目的達成に向けて取り組んだことで、先輩・後輩との連帯感や施設との連携が図られ、各活動班での社会性や協調性が養われるとともに、これからの社会人としてのコミュニケーション能力や人間力向上につながった。

6. 所属関係団体

1. 日本介護福祉士養成施設協会

内 容	開催日	場 所
総会 第1回 第2回 全国教職員研修会	平成26年5月30日(金) 平成26年11月19日(木) 平成26年11月19日～21日 (木・金・土)	東京 三重 三重
東海北陸ブロック会 平成26年度全国教員研修会第2回 実行委員会 平成26年度全国教員研修会第2回 作業部会 平成26年度ブロック教員研修会 総会・第1回運営委員・各県代表者合同会議 平成26年度全国教員研修会第3回 実行委員会 平成26年度全国教員研修会第3回 作業部会 平成26年度全国教員研修会第4回 実行委員会 平成26年度全国教員研修会第4回 作業部会 平成26年度全国教員研修会第5回 実行委員会	平成26年4月17日(木) 平成26年5月21日(水) 平成26年6月28・29日 (土・日) 平成26年6月29日(土) 平成26年7月31日(木) 平成26年9月26日(金) 平成26年10月23日(木) 平成26年11月21日(金)	名古屋 名古屋 三重 三重 名古屋 名古屋 名古屋 三重

2. 富山県介護福祉士養成協会との連絡協議会

(1) 総会・代表者会議等 () 内: 本学参加人数

内 容	開催日	場 所	参加人数
平成26富山県養成校協会 総会・第1回各校代表者会議	平成26年6月19日(木)	富山短期大学 大会議室	協会1(1) 4校5名(2)
第2回各校代表者会議	平成26年9月30日(火)	富山短期大学 D203教室	4校5名(2)
第3回各校代表者会議	平成26年12月2日(火)	富山教育文化会館 503号室	4校7名(2)
第4回各校代表者会議	平成27年1月28日(水)	富山短期大学 大会議室	協会2(2) 4校8名(2)
介護福祉士養成校教育に関する 連絡協議会	平成26年12月2日(火)	富山教育文化会館 503号室	関係機関3名、 富山県厚生部厚 生企画課1名、 協会2名(2)、 4校6名(2)

(2) 「介護の日」をめぐり啓発活動・事業

「介護の日」記念イベント 平成26年11月9日(日) 総曲輪グランドプラザ

3. 富山県レクリエーション協会

- ・平成26年度課程認定校講座担当教員・事務担当者合同会議(合同会議のみ参加)
平成26年7月18日(金) 富山県教育文化会館

7. 地域社会への貢献

1. セミナー関係

事業名	開催日時	場所	参加者	内容	付記
第19回 楽しい福祉セミナー	8月24日 (日) 13:30～ 15:30	福祉棟 3階	高校生 34名	「介護イノベーション！あなたのイメージを塗り変える、介護現場のスーパーテクニク」 講師：関 好博（本学教授）ほか	富山県福祉・介護人材確保特別対策事業
2014 福祉・介護フォーラム 「福祉学科公開セミナー」	11月3日 (土) 13:00～ 16:00	サンシッ プとやま	(1) 特養ホーム 18名 (2) 介護老人保健施設 2名 (3) 病院 8名 (4) 居宅介護支援事業所 4名 訪問介護事業部 (5) 通所介護 3名 (6) ケア・グループホーム 7名 (7) 短大・専門学校 66名 (8) 高校 3名 (9) 非常勤講師 0名 (10) 行政・社協・団体 4名 (11) 一般・その他 19名 (12) 本学教職員・学生 94名 合計 228名	(1) 基調講演：「ターミナルケアをみつめて —高齢者介護施設での実際—」 講師：鳥海 房枝氏（NPO法人メイプル・事務局 長・理事） (2) シンポジウム：「認知症高齢者の暮らしを最期 まで支えるために」 シンポジスト 申田 美代志氏（特養 大江苑 施設長） 西村 和美氏（NPO法人このむびとーまれ福代 表） 茂古沼 江里氏（福地地域包括支援センター所長） 助言者 鳥海 房枝氏 コーディネーター 石橋 郁子（本学 准教授）	
第18回 リカレントセミナー	平成27年 3月10日 (火)、13:00 ～16:30	福祉棟 2階	12名	「介護場面における認知症利用者とのコミュニケーション～ユマニチュードケアを活用して～」	

2. 出張授業（1. 学生募集・入学試験・広報で掲載）

3. 「介護技術講習会」開催

(1) 平成26年度介護技術講習会受講者申し込み 平成26年4月1日(火)9:00～12:00 学科教職員全員

(2) 平成26年度介護技術講習会

第1回	定員	32名	平成26年5月31日	～	6月8日	受講者数	前半32名、後半31名
第2回	定員	32名	平成26年6月28日	～	7月6日	受講者数	前半32名、後半33名
第3回	定員	32名	平成26年7月19日	～	7月27日	受講者数	前半31名、後半30名

(3) 平成26年度介護技術講習会指導者研修会

班別研修会；平成26年 5月17日（土）学科教員4人・指導者（施設等介護職員） 18名

(4) 平成27年度「介護技術講習会」実施準備事務

①委嘱依頼（各施設長、講師予定者へ）	平成27年 1月 5日（月）
②厚生労働省への届け出	平成27年 1月30日（金）
③日本介護福祉士養成施設協会の支援事業申し込み	平成27年 1月30日（金）

4. 富山県からの補助事業および受託事業

○平成26年度富山県福祉・介護人材緊急確保特別対策事業
 （福祉・介護人材参入促進事業）富山県厚生部厚生企画課

(1) 福祉・介護フォーラム (再掲)

目的：「介護の日」を記念し、専門家による講演や介護福祉に対する思いなどをおし
て、介護福祉の専門性と介護の魅力を広く伝える機会とする。

対象：一般県民、現に福祉・介護分野で従事する者等

日時：平成26年11月3日(土) 午後1時～午後4時

会場：富山県総合福祉会館 サンシップとやま

内容：「テーマ：介護福祉の明日を語る」

- ① 基調講演：「ターミナルケアをみつめて—高齢者介護施設での実際—」
講師：鳥海 房枝 氏 (NPO 法人メイアイヘルプユー 理事)
- ② シンポジウム「認知症高齢者の暮らしを最期まで支えるために」
シンポジスト：串田 美代志 氏 (特別養護老人ホーム 大江苑 施設長)
西村 和美 氏 (NPO 法人このゆびとーまれ 副代表)
茂古出 江里 氏 (福岡地域包括支援センター 所長)
助言者：鳥海 房枝 氏
コーディネータ：石橋 郁子 (富山短期大学 福祉学科 准教授)
- ③ 「介護川柳」入賞作品 展示コーナー
- ④ 参加者： 228 名

(2) 養成校と高校教諭との担当者会議

目的：福祉・介護の現場における最新の状況を高校の教育現場に提供し、それにより情
報共有を図ることで今後の連携を高める機会とし、養成施設・学校・事業者相互
理解を深めるように連絡会議を開催する。

対象：県内高等学校等において家庭科及び福祉に関する科目の担当教諭あるいは、進路
指導担当の先生

日時：平成27年3月18日(水) 15:00～17:00

会場：サンシップとやま

参加者：14名 (高校教員8名、県厚生部1名、養成校5名)

内容：①講演「介護職員の処遇改善を取り巻く動きとキャリアパス」

講師：石浦 克行 氏 (社会福祉法人 永寿会 特別養護老人ホーム 雨晴苑
事務長)

②意見交換「介護福祉に関する Q&A」

(3) 中学生への出前講座

目的：「14歳の挑戦」や「福祉」に関する総合的な学習との関連のなかで中学生に福祉
や介護をわかりやすく、また、楽しく学ぶ機会を提供し、もって将来的な福祉・
介護の仕事の選択をめざす生徒等を支援することを目的とする。

日時： ①平成26年11月8日(土) (富山市立奥田中学校)

②平成27年1月23日(金) (富山市立和合中学校)

③平成27年1月27日(火) (南砺市立利賀中学校)

④平成27年2月4日(水) (富山市立城山中学校)

⑤平成27年2月16日(月) (富山市立速星中学校)

⑥平成27年2月23日(月) (南砺市立平中学校)

対象： ①24名 ②1年生(134名) ③1・2年生(12名)

④1年生(105名) ⑤1年生(313名) ⑥全校生徒(42名)

講師： ①本学福祉学科教員1名、卒業生2名

- ② 本学福祉学科教員 2 名、卒業生 8 名
- ③ 本学福祉学科教員 1 名
- ④ 本学福祉学科教員 1 名、卒業生 1 名
- ⑤ 本学福祉学科教員 2 名、卒業生 14 名
- ⑥ 学福祉学科教員 1 名

内 容： (1) 仕事に関する全体の話と福祉・介護
 (2) 高齢者疑似体験
 (3) 車いす体験
 (4) コミュニケーション技術
 (5) バリアフリー&ユニバーサルデザイン

(4) 高校生への出前講座

目 的：高校生に福祉や介護をわかりやすく、また、楽しく学ぶ機会を提供することで、福祉・介護分野に興味・関心をもってもらうとともに、将来的な福祉・介護の仕事の選択をめざす生徒等を支援することを目的とする。

日 時： ①平成 27 年 3 月 5 日 (木) (県立中央農業高等学校)
 ②平成 27 年 3 月 5 日 (木) (県立雄山高等学校)
 ③平成 27 年 3 月 6 日 (金) (県立南砺福野高等学校)
 ④平成 27 年 3 月 12 日 (木) (県立南砺福野高等学校)
 ⑤平成 27 年 3 月 12 日 (木) (県立氷見高等学校)
 ⑥平成 27 年 3 月 13 日 (金) (県立となみ野高等学校)
 ⑦平成 27 年 3 月 18 日 (水) (県立氷見高等学校)

対 象： ①1 年 90 名
 ②生活文化科 2 年 40 名
 ③農業環境科 2 年 30 名
 ④農業環境科 2 年 30 名
 ⑤生活福祉科 2 年 40 名
 ⑥総合福祉科 2 年 10 名、1 年 13 名
 ⑦生活福祉科 1 年 40 名

講 師：各講座 本学福祉学科教員 1 名

内 容：「視覚障害者の理解と疑似体験」(③)
 「聴き手が主役のコミュニケーション」(①)
 「介護ロボットとコミュニケーション」(⑤)
 「彩りケア」(②)
 「生活を支えるユニバーサルデザイン」(④⑦)
 「介護技術を科学的に学ぶ」(⑥)

※ 高校生を対象とした第 19 回楽しい福祉セミナーは、高校生への出前講座に含む。

○平成 26 年度障害福祉レベルアップ事業 富山県厚生部障害福祉課 (再掲)

期 日：平成 27 年 2 月 10 日 (火) 13:30~15:00

対 象：1 年生 41 名

会 場：障害者支援施設

② 高志ライフケアホーム ②高志ワークホーム

引率教員：2 名

8. 研究・社会活動

1. 所属学会

西井	日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会 日本介護学会	関	日本地域福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会
石黒	日本栄養改善学会 日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会	吉牟田	日本福祉介護情報学会 日本リメディアル教育学会
立島	日本体育学会 北陸体育学会 日本介護福祉学会	井上	日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会 日本介護学会 日本認知症ケア学会
石橋	日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会	松居	日本介護福祉学会 日本介護福祉教育学会

2. 著書・論文・発表等（平成23年4月～平成24年3月）

(1) 著書

①西井啓子：「社会福祉学習双書 2015 第15巻介護概論」（分担執筆）全社協平成27年3月

②関 好博

新・エッセンシャル 老人福祉論 [第3版] 分担執筆 株式会社みらい 平成27年3月

(2) 論文

①井上理絵、石橋郁子、松居紀久子、西井啓子

ICFモデルとアセスメントの一考察

富山短期大学紀要 第50巻 平成27年3月

②吉牟田裕、関好博、立島真、西井啓子

高齢化率の高い射水市沿岸部固有の福祉ニーズの把握

富山短期大学紀要 第50巻 平成27年3月

(3) 発表

①井上理絵、石橋郁子、松居紀久子、西井啓子

ICFモデルとアセスメントの一考察

第21回 日本介護福祉教育学会 平成26年9月

②吉牟田

平成26年度富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー 研究成果発表会

「高齢化率の高い射水市沿岸部固有の福

祉ニーズの把握」 平成26年7月

3. 講演・講義・シンポジウム等への講師（平成26年4月～平成27年3月）

派遣日		内 容	備考
6月6日	金	となみ野高校福祉特別講座講師	社会
6月13日	金	滑川市福寿大学講師	社会
7月10日	木	南砺福野高校社会基礎特別授業講師	介護
7月11日	金	富山県老人福祉施設大会 研究レポート講評	社会
7月15日	火	26年度らくらく介護講座講師(県社協福祉カレッジ)	介護
7月17日	木	風の庭 介護職員研修会講師	介護
7月24日	木	富山県小規模多機能型居宅介護事業者講演会講師	生活
8月5日	火	富山県介護支援専門員現任研修専門研修課程Ⅱ講師	介護
8月7日	木	富山県介護支援専門員現任研修専門研修課程Ⅱ講師	介護
8月19日	木	三寿苑 介護職員介護技術研修会講師	介護
8月25日	月	富山県立となみ東支援学校 高齢者体験学習会講師	介護
9月11日	木	富山県児童館連絡協議会 児童厚生員等研修講師	社会
9月18日	木	富山県社会協議会 26年度富山デイサービス職員研修会講師	社会
9月18日	木	富山県社会協議会 富山デイサービス職員研修会講師	社会
9月30日	火	富山市保健所食生活改善推進リーダー研修講師	生活
10月1日	水	第9回高岡市社会大会活動発表コーディネーター	社会
10月1日	水	26年度介護福祉士養成研修講師(県社協福祉カレッジ)	介護
10月1日	水	高岡市社協 第9回高岡市社会大会 活動発表コーディネーター	社会
10月24日	金	26年度南砺市ボランティア受入れ施設連絡会講師	社会
10月24日	金	南砺市ボランティア受入れ施設連絡会講師	社会
10月29日	水	公共交通事業者向けバリアフリー推進部研修会	社会
10月31日	金	となみ野高校福祉特別講座講師	介護
11月4日	火	となみ野高校福祉特別講座講師	介護
11月5日	水	となみ野高校福祉特別講座講師	介護
11月15日	土	富山県介護福祉士会 実務者研修教員養成講習会講師	介護
11月22日	土	26年度富山県障害者スポーツ指導員養成講習講師	社会
11月22日	土	26年度富山県障害者スポーツ指導員養成講習講師	社会
11月22日	土	富山県障害者スポーツ指導員養成講習会(初級)講師	社会
11月26日	水	富山県社会協議会 27年度富山デイサービス職員研修会講師	社会
11月26日	水	富山県社会協議会 富山デイサービス職員研修会講師	社会
12月14日	日	富山県介護福祉士会 実務者研修教員養成講習会講師	介護
12月15日	月	高岡市福祉保健部 地域包括支援センター研修会講師	社会
12月18日	木	北部高校学校保健委員会講師	生活
1月23日	金	富山市食生活改善推進連絡協議会北ブロック研修講師	生活
2月4日	水	立山町社会協議会 ボランティア・ふれあい活動合同研修会講師	社会
2月27日	金	福井市社会協議会 福祉施設職員とボランティア合同研修会講師	社会
3月24日	火	富山県高齢福祉課 富山県介護員養成研修	介護

4. そのほかの社会活動 ※委員など

- (1) 富山市社会福祉協議会 富山市地域福祉活動計画策定委員会 委員長
- (2) 氷見市社会福祉協議会 氷見市ボランティア総合センター運営委員会 委員
- (3) 富山市社会福祉協議会 富山市ボランティアセンター運営委員会 副委員長
- (4) 国土交通省 北陸信越運輸局 バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議 委員
- (5) 富山市社会福祉審議会委員
- (6) 富山市社会福祉審議会 老人福祉専門分科会 委員
- (7) 富山県老人福祉施設協議会研究レポート選考会委員
- (8) 富山県立高岡西高校 学校評議員
- (9) 「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰審査会委員
- (10) 福祉教育サポーター設置検討委員会委員
- (11) 小矢部市社会協議会 福祉教育サポーター設置検討委員会委員
- (12) 富山県福祉カレッジ運営委員会 委員
- (13) 富山県福祉カレッジカリキュラム検討分科会委員
- (14) 富山県障害者介護給付費等不服審査会委員
- (15) 富山県都市計画審議会 委員
- (16) 富山県福祉人材確保対策会議 ワーキンググループ座長
- (17) 富山市介護予防推進連絡会議 委員
- (18) 富山県後期高齢者医療審査会 委員
- (19) 富山市介護認定審査会 委員
- (20) 介護福祉士国家試験委員
- (21) 射水市ケアプラン訪問指導
- (22) 富山歯科総合衛生学院非常勤講師
- (23) 富山県バレーボール協会副理事長
- (24) 富山県学生バレーボール連盟理事長
- (25) 全国大学体育連合北陸支部評議員
- (26) バレーボール天皇杯・皇后杯全日本大会県大会実行委員(副責任者)
- (27) バレーボール天皇杯・皇后杯全日本大会北信越ブロックラウンド実行委員会
- (28) 富山県体育大会バレーボール二部大会実行委員(副責任者)
- (29) 富山県大学連携広報委員会
- (30) 富山県バレーボール協会理事会(副理事長)
- (31) 全国大学体育連合北陸支部研修会委員

9. 進路指導

1. 就職指導

(1) 就職情報収集・求人開拓

福祉学科 18 期生の就職に向けて、介護福祉専門職の求人情報収集と求人開拓のため、県内外の福祉施設及び関係機関への依頼を実施した。卒業予定者名簿ならびに学科の概要を 226 箇所へ郵送した。その結果、県内から 154 件、県外から 91 件の求人件数を得た。

(2) 就職先へのお礼

4 月下旬から 5 月上旬にかけて、専任教員で福祉学科 17 期生の就職先(県内 31 施設)にお礼と就職定着のため巡回訪問を実施した。

(3) 学生指導

① 4 月中旬より、2 年生全員に個別面接による進路の意向調査を実施した。

② 就職および編入学情報掲示コーナーを設置した。(通年)

- ・ 専門職(県内・県外)と一般職(県内・県外)に分類したファイルを常備するとともに専門職(県内)の求人を掲示した。
- ・ 受験報告書(面接時の質問や試験課題など)綴りの整備と活用、受験対策マニュアルや就職試験問題集の購入と貸出しをおこなった。

③ 必要に応じ、担任による個別指導や就職指導課との連絡調整を行った。(随時)

④ 求人のある施設には電話でお礼を述べ、就職活動の情報交換に努めた。

⑤ 内定を受けた場合は、採用先へ即時にお礼の電話をかけた。

⑥ 富山県福祉人材センター主催の職場説明会に担任が同行し、会場での学生指導や求人先との橋渡しに努めた。

⑦ 5 月下旬から 6 月上旬にかけて、就職希望者全員に模擬面接指導を実施し、希望者には個別指導も行った。(就職指導課と共同)

⑧ 卒業予定者の進路状況の一覧表を作成した。

2. 福祉職場説明会への参加

① 平成 26 年 7 月 21 日(土) 富山国際会議場(学生 40 名、教員 3 名)

② 平成 26 年 8 月 9 日(土) 富山国際会議場(学生 39 名、教員 2 名)

3. 就職特別講座

(1) 「介護福祉士の仕事」平成 26 年 7 月 3 日(木)

講師 学科長

(2) 「施設が求める人材」平成 26 年 7 月 17 日(木)

講師 特別養護老人ホーム「にながわ光風会」施設長 水上 正宏 氏

(3) 先輩と語る会 平成 26 年 7 月 10 日(木)

発表者：卒業生 16 期生 富山型デイサービス「このゆびと～まれ」(介護職員)

卒業生 15 期生 特別養護老人ホーム「太陽苑」(介護職員)

卒業生 15 期生 身体障害者療護施設「志貴野ホーム」(介護職員)

卒業生 13 期生 療型医療施設「南砺中央病院」(介護職員)

4. 就職及び進学体験を聞く会

「2年生から1年生へ」 平成26年3月2日(月)

就職内定者(県内) 特別養護老人ホーム「にながわ光風苑」(女子学生)

就職内定者(県内) 介護老人保健施設「魚津老人保健施設」(男子学生)

就職内定者(県内) 特別養護老人ホーム「竜が浜荘」(女子学生)

編入学合格者(県内) 富山国際大学 子ども育成学部(女子学生)

5. 編入学指導

編入学希望者へは1年次より2～3ヶ月ごとに意向調査を行い、オープンキャンパスなどの志望校に関する情報提供、小論文の添削指導、模擬面接指導などを実施した。また、編入学した卒業生を講師に招き受験前の準備から編入学後のゼミ選択までの幅広いアドバイスをもらうなど、安心して編入学に臨めるよう支援を行った。

(1) 「編入学指導 先輩と語る会」 平成26年8月11日(月)

卒業生2名(16期生・17期生)

※編入学希望の2年生6名 1年生1名が参加

(2) 富山国際大学子ども育成学部編入学説明会 平成26年7月8日(火)

※編入学希望者の2年生6名 1年生1名が参加

(3) 主な年間指導計画

①編入学の説明会の開催	4月
②志望校及び志望学科の確定に向けた個別面談	4～8月
③オープンキャンパスや進学説明会への参加促進	7～8月
④願書等の提出準備ならびに自己推薦文や面接の指導	8～9月
⑤編入学試験の直前指導	10～11月